RIPPLE SAILING CLUB
NO.151

月刊1995.11.18
RIPPLE

（発行）
リプル・セイリングクラブ
〒238−03
神奈川県横須賀市長井2−11−1
TEL 0468−57−1711

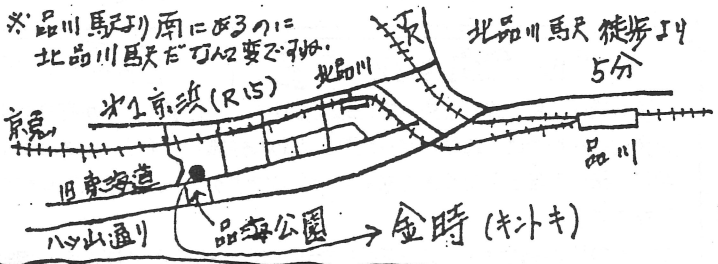
リプル 忘年会 12/2(土)

それにしても今年は年明け早々から色々な事が有り過ぎましたね。
押し迫った1995年、来年こそはと願いつつ今年の事は忘れて大いに飲み明かしませんか。
そこで、忘年会を行います。
日時、場所等は独断と偏見で決めさせて頂きました。

期日　12月2日（土）
時間　16：30 ～ 21：00
場所　金時　（なんとハッシーこと長谷川氏の実家）
品川区北品川2−2−10
03−3471−7680
会費　7，000円

来年のリプルカップ、駅伝レース、確実に定員オーバーになることが分かっている来年の夏のロングクルージングの件とか、その他来年の事を肴に盛り上がりましょう。

※ 申し込み締切日は11月30日（木）と致しますので電話でOKですので希望者は留守電でも構いませんので連絡下さい。



RIPPLE号 アンカーロープ注意

最近RIPPLE号のアンカーロープの件でちょっと困ったことが起きています。
スタボー側の艇のアンカーロープが引けて、ゆるゆるになっていまして、南の風の時に我が艇の所まで艇が寄って来てしまい、アンカーロープを拾うのが大変困難なときがあります。
隣の艇はエンドレスタイプに留めて有りますので、我が艇の様にシートを詰めれば良いという訳にはいかないようです。
一応お願いはして有りますが、上記の様な状態に成らないようにと、成っていたらの対処の仕方ですが、まず出艇の時はスターン側のもやいを解くときは思い切り艇から離してリリースして下さい。注意としましては潮によってモニターが海底に接いてしまっているためフロートだけやってもそれはやらないのと同じ事ですので、しっかりとモニターも一緒に”よいしょ”と上げ、できるだけ艇から離してリリースして下さい。
また、帰港して接近していたら、バウのスタボーを隣のボートのスターンに付け人力でキール、ペラ、ラダーに注意しながらかわしながらするすると停泊位置まで進めて下さい。（押し込むように）
またさらにひどい時は、スタボーで拾ってフロートのシートを外してボートに結ぶ手が有ります。
いずれにしろペラの回転には十分注意して下さい。
余り打ち直しに時間が掛かるようでしたら、リプル号のアンカーを打ち直してしまいますが、ちょっとの間だと思いますが、うっとおしいですがご勘弁を。

ガンバ!! ヨットマン!!

最近の我がホームポート長浜事情ですが、ここ1年の間に大きく様変わりを致しております。
一昔前の長浜海岸はヨット、セイルボード、それにサーフィンがマリンレジャーの御三家だったのが、最近は、というよりここ1年の間に新規のレジャーアイテムが続々参入し、かつての御三家がかなり影を潜めてしまいました。
まず、筆頭に上げられるのが1番の古い参入者であり、長浜海岸の皆の嫌われ者の水上バイクが上げられます。とにかく雨でも嵐でも真冬でも、あの騒音と排気臭ををまき散らせながら、ブンブンとやっております。
そして、今年特に成長率が高かったのは、シーカヤックです。
ショップのスクールも毎週行われていて、今ではヨットの比では無い位海上に出ております。
先月のヨット駅伝の当日には、メーカー、ショップ3店とのタイアップの試乗会が行われていて、数えただけでも70艇以上ものシーカヤックが長浜沖を所狭しと浮いておりました。
通年通しての新規2大勢力は以上ですが、夏にはセイリングクルーザー、モータークルーザー、それに長浜沖はキスのメッカなので釣り船と、各種のマリンレジャーの人々が利用しています。
そして最近では空のレジャーの人達も利用するようになってきております。まだ私の知る範囲では3人ですが、水上飛行艇が2艇、モーターパラグライダーが1機と、恐らくこれだけの場所で、これだけのアイテムのレジャーが共存している所は私は知りません。
でもって、これだけの種類がいると色々なトラブルが有るのでは、と心配されますが、今の所は自然発生的に大ざっぱなゾーニングが出来つつあり、お互いに他の領域には積極的に近寄らないような雰囲気が生まれて来ております。
かつて、水上バイクの件で我々が県なり市に陳情に行った名残が功を相しているのかもしれません。
それこそ、隣の青少年センターで保安庁、県の水産課、土木課、三戸浜、長井の両組合長、三崎警察、横須賀警察それと我々の置き場の責任者で何度か会議をして対策を考えたものでしたが、結果的には当の水上バイクの人達が会議の席に1度も出席してくれないまま今日に至っており、最終結論と言うものが出来ておりませんが、確実に大ざっぱなゾーニングが出来てきております。
まず、陸を背にして左が水上バイク、右がシーカヤック、そして中央がヨット、ウインド、お空は右海面、そしてサーフィンは左右の一番隅と言う様になってきました。
これは決定では無いので余り堅苦しく考えなくとも良いのですが、ただこのところ見ていますと、彼らのパワーに比べ我々ご三家が元気が有りません。気が付いたらカヤックと水上バイクのゾーニングが接していたなんて言うことにならないように、がんがんセイリングに来て頂きたいものです。折角彼らが敬意を評しど真中を空けてくれているのですから。

アマダイが釣れ出しました。

イナダの代わりにメジマグロに湧いた今年の青物シーズンも既に終盤となり、次の魚種を求め根魚をトライしてみました。
狙った魚種は”アマダイ”。
いつもは70mラインを狙うのですが、今回は50mライン。小網代入港ブイの北側100m。
初めてのポイントでしたが2時間半で30cm−40cmのまーまーのサイズが6匹、入れ食いの状態でした。